

## 江別市、市内4大学、江別商工会議所が包括連携・協力に関する協定を締結

本学はこのほど、江別市ならびに札幌学院大学、北翔大学、北海道情報大学、江別商工会議所とともに、「包括連携・協力に関する協定」を締結しました。今後は本協定に基づき、各種分野において互いに連携・協力することで地域社会の持続的発展に資するため、大学の個性を活かした協働のまちづくりの推進、人的・知的・物的資源の相互活用・交流連携、地域活性化のための連携・協力などに取り組みます。

2月5日（木）に市役所で行われた協定調印式には、三好昇市長をはじめ、各大学長、安孫子建雄江別商工会議所会頭らが出席し、協定書に調印しました。三好市長は本協定について、今後さらに各機関の連携を強化して具体的な計画を策定していく考えを示し、「4大学、そして地域の素晴らしい財産はまだまだ眠っている。今回の協定を契機として、その財産を活用できるようにしたい」と期待を込めました。

本学の谷山弘行学長は「江別は農業のまち。本学は酪農だけでなく農業全般、食と農の後継者を育てる大学を目指している。地域と大学が、互いに豊かになる連携になればよいと思う」と述べました。

調印式後は懇談が行われ、地元企業のインターンシップ（就業体験）受け入れの拡大を求める声や、江別のシンボルである野幌原始林を大学でも教育に生かしてほしいなどの要望が出されました。